



教皇様の叢

Libreria Editrice Vaticana, Città del Vaticanoの転載許可済 © 1992 発行所 財団法人 精道教育促進協会 〒659 兵庫県芦屋市船戸町1-2-6 TEL 0797-31-3452・FAX 0797-31-3448

聖なる三日間

● 私たちの信仰の中心的出来事であるキリストのご受難、ご死去、ご復活を記念する「聖なる三日間」の徹夜祭を今迎えています。これらの出来事の意義を深く黙想し、私たちの霊的生活とこの世の歴史に光と力を得たいものです。歴史的出来事と神の神秘を祝う復活祭は、一年の典礼の頂点であり、全ての祭儀の中心です。イエズスは地上の使命を成し遂げるために、愛のうちにご自身を御父に委ねられました。「父よ、私の霊を御手に委ねます」(ルカ二三・四六)。御父はイエズスの犠牲を受け取り、三日目に死者から復活させ、「私たちが新たに生まれさせること、生きる希望を抱かせ、朽ちることなく、汚れることなく、しばむこともない天の蓄えの遺産を継がせられました」(1ペトロ一・

三・四)。灰の水曜日から始まった四旬節も終りに近づいています。聖書に記された贖い主の犠牲の最後の場面を黙想しながら、再び祈りのうちにこの旅路を歩み続けましょう。そこは悲しみと孤独のステージです。しかしその終着点には、利己主義と罪に勝った愛と許しの秘義が輝いています。

● 「ご受難のキリスト、蘇られたキリストとの出会いを実りあるものにするために、今迎えている聖なる三日間のそれぞれの厳粛な場面を思い起してみましよう。まず聖木曜日から始めます。この日はご聖体の制定を記念する日です。十字架上でご自身を御父に捧げる前に、イエズスは前もって預言され、教えられていたように、ご自身が犠牲となることを最

後の晩餐の席で先取りされました。そして命のパンとしてご自身を弟子たちに、そして弟子たちを通して全ての人にお与えになったのです。ご聖体という計り知れない秘義！全ての人がそのみ前で頭をたれ、「われは御子ののたまひしことをことごとく信じ奉る。この真理の言葉にまさはることは世にあることなし」(アドロテ・デヴォーテ、聖体に対する聖トマススの祈り)と申し上げます。慰めとなる秘義！キリストは司祭職を制定して、ご自分の犠牲が世々に続くようにしてくださいました。弟子たちに言われたように「これを私の記念として行え」と。

● 本日から、ラテン・アメリカの主な巡礼地を訪ねる霊的巡礼を始めたいと思います。聖地に足をとどめ、新たな福音宣教に思いをめぐらせながら、アメリカ大陸にキリストのメッセージが届いてから五百年目の祝いを迎えます。

● 最初に、サント・ドミンゴの大聖堂へ行きましょう。ここはアメリカで最初に建てられたカトリックです。一五二四年、初代司教アレックスサンドロ・ジェラルディーニの手で祝別され、掲げられた「福音宣教の十字架」がここにあり、崇敬を集めています。イスパニオラ島と呼ばれたこの島は、今ではハイチおよびドミニカ共和国となっています。

● 一九八四年十月十二日、サント・ドミンゴ市で、私はアメリカ司教会議の議長にその十字架の小さな複製を手渡しました。同じものをバチカンに持ち帰り、聖ペトロのバシリカの中に安置しています。

● 五百年のあいだアメリカを照らした態度と深い自覚のうちにミサに与り、司祭と司祭職のために祈り、教会を刷新する愛で心を満たすように強く招きます。ご聖体を記念する聖木曜日には最後の晩餐の光景を再び見つめなおし、カルワリオの場面に加わりましょう。

● してきたキリストの十字架が、この大陸の将来にとって決定的なものとなるこの時、福音の道に光を投じてくださいますように！

● サント・ドミンゴの大聖堂は一五二三年に着工し、四一年に完成しました。ここには最初の聖母の絵もあり、コロンブスが一九九二年の航海の時、セビリアからはるばる持ってきたと言われています。御託身の乙女に捧げられたこのすばらしい聖堂では、今なお人々が「アンティグアの聖母」の前で祈り続けています。

アンティグアの聖母 アメリカ巡礼②

● 次は聖金曜日です。この日は非常な苦しみの日、神の無限の愛が人類の犯した罪と対決する日。つまり前日の夕刻にゲッセマニの園で始まり、十字架の死に至ったキリストのご受難を思い起す日です。この日にはことさら深く黙想せ

● 第四回ラテン・アメリカ司教総会議が新たな福音宣教の姿を提示し、いま現在生じている重大な司牧上の問題に 대응してくれることを確信します。

● 聖マリア、謙遜で信仰厚い主のはしために、このお告げの祈りを通して、新たな福音宣教という魅力ある仕事と、人間の尊厳を守り、真正なキリスト教文化を育てんとするラテン・アメリカの人々の努力をお捧げします。(お告げの祈りの時間に、一・十二)

信徒の皆々へ

信徒の使命は社会での教会の存在のしるし



(…)信徒として、皆さんがこの世界の中で果すべき使命には、多くの相互補完的な局面があります。とりわけ、各人が自らの生活の中で、キリストの聖性への招きに答える義務があるのです。教会が進めている「新たな福音宣教」は、個人が改心して救い主に従うこと、模範による証言、救いの良き知らせを全ての人に宣言することが前提となります。

先日のローマでの研修会プログラムには典礼の祈りのための時間が設けられており、使命は全て主がお与えになるもので、その活力

ずにはおられません。ゲッセマニの園から裁きの席に連れてこられたイエズス、十字架を肩に担い、カルワリオをお登りになるイエズスと共に「道行」を歩み、使徒聖ヨハネ、聖母マリア、婦人たちと並んでゴルゴタの丘でイエズスの足元にたたずみましょう。御言葉の真理の深さが理解できるように、十字架に釘付けされたイエズスを黙想しましょう。「神は御独り子を与えたもうほこの世を愛されな滅びることなく永遠の命を受け

るためである。神が子を世に送られたのは、世を救うためではなく世を救うためである(ヨハネ三・十六〜十七)。
十字架は罪の償いの秘義。イエズスは残酷にも死刑の宣告を受け、人類の歴史に打ち寄せる恐ろしい罪の波のために、また人祖が犯した「原罪」の贖いのために死去されました。ゴルゴタの出来事は至上の愛の行為でした。パウロと共に言わなければなりません。「神の子は：私を愛し、私のためにご自身を渡された」(ガラツィア二・



二〇)。
復活前夜祭は強烈な光を私たちの心に注ぎます。それは、真の洗礼の泉から流れ出る命の光、死してのち蘇られたキリストの光、救いの歴史を示す聖書からの光、アレヤの喜びあふれる歌から伝わる光です。悔悛と祈り、断食と愛のうちにキリストのご受難により深く与れば、復活の喜びはさらに大きくなるでしょう。
イエズスの御体が墓に横たえられている神秘的で聖なる時を思い起させる聖土曜日沈黙の祈りが

は祈りと日々の黙想に基づいていることを思い出させてくれました。皆さんが聖霊に心を開くなら、皆さんの仕事もうまく行くでしょう。皆さんは聖霊の協力者なのです。私は、祈りと秘跡を活動の中心に置く計画を立て、それを支持しようという皆さんを励ましたいと思います。霊的生活は人間を神の生命に向かわせ、豊かな肉寵を与え、兄弟姉妹との関わりを深めます。(信徒の召命と使命、三〇番)
それぞれの文化の中で、各自の感受性に応じて、信徒に固有の霊性をよみがえらせるのは皆さんの



仕事です。この霊性こそ全ての宣教生活に不可欠な要素であり、これがなければ福音宣教は単なる活動主義に墮する危険があります。実のところ活動主義は、物事の存在と本質を、見た目に明らかなものだけに限ってしまう傾向があります。キリストは、御自分との親しいつき合いを不可能にするような、多忙や思いわずらいに警告を発しておられます。「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことを心配して心を使っている。だが必要なことはただ一つである。マリアはより良いほうを選んだ。」(ルカ四一〜四二) 祈りに費やした時間は、人々を生活から引き離したりしません。この世での生活を神に捧げるとき、皆さんは教会の司祭職に協力し、それによって、世界を神と一致させるのです。(…)

信徒としての皆さんの使命は、教会がこの世に存在し、

徹夜祭に先立つて行われるのは、全くふさわしいことです。沈黙と期待に包まれた日、聖土曜日は、御子のそばで見守り続け、御父の御旨に全てを委ねられた聖母マリアと共に黙想する日なのです。
「警戒して祈れ」と言われたイエズスの招きに答えることができず、ご受難、ご死去、ご復活を黙想しつつ、警戒して祈りましょう。そうすれば、御旨への従順が敏速で確かなものとなり、変らぬ愛と奉仕への招きを拒むことなく、「死ぬ

まで、十字架上の死に至るまで」従順の道歩むことができるでしょう。
この道においてのみ、「道、真理、命」であるキリストと離れることなく一つになることができず、聖性のうちに生きる道、神の教えが示す真理、永遠の幸福の命であるキリストと「大聖レオ、復活についての説教」。
このような願いを込めて、慰めの源である復活祭のお祝いを皆さんに送ります。
(九一・三・二七)

この世に注意深く関わっているしとなることです。預言者イザヤに呼びかける主の御声を聞いてみましょう。「慰めよ、私の民を慰めよと主は仰せになる。」(イザヤ四〇・一) 皆さんは見張り人としてこの世に置かれ、その時々が必要に応じて、新しい司牧上の見通しや企てに教会の目を向けさせる役割を果します。福音の「良い知らせ」は、人の全人格を発展させる力強い源です。個人として、社会の一員として、自分の義務や決心に対し責任をもつと共に、人間として兄弟姉妹との連帯を保ちます。教会は、このような皆さんを頼りにしています。
時にキリストを知らない人、信仰を持たない人々が皆さんの活動に加わりたくて言ってきます。この事実は、人々が心から何かを求め求めていること、キリスト信者がそれに応えるべきであることを示しています。しかし、皆さんの活動の本質と言うべき宗教的な局面を消し去ることはできません。皆さんの宣教活動から固有の性格を失わせる危険があります。隣人への心づかいは、自分のアイデンティティをなくすことではないはずで、善意の人々を迎え入れる時、教会は「個人を改心させよう」と試みる。それと同時に集団としての人々の良心も、人々が従事する活動も、個々の生活と環境も。」(エバンジェリイ・ヌンツィアンデイ、十八番) 使徒たちのように、私たちが神の御言葉への熱意に満ちて、絶え間なく自分に言い聞かせるべきです。「私が福音をのべないなら、禍なことだ。」(一コリント九・十六) こうして皆さんは、教会の預言的的使命に参入するのです。(…)
(カトリックの国際会議で、九一・十二・十三)

「教皇様の声」に掲載されたカテケージスのシリーズのコピー版を別売致します。 ●カテケージス シリーズ(1)「創造」「信仰と神」「天使の創造」「神の摂理」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(2)「イエズス・キリスト・真の人、真の神」…一〇八頁、一二〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(3)「福音の宣教」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(4)「祈り」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(5)「聖霊」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(6)「聖母マリア」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(7)「聖徒」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(8)「聖地」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(9)「聖物」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(10)「聖歌」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(11)「聖書」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(12)「聖史」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(13)「聖訓」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(14)「聖徳」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(15)「聖務」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(16)「聖職」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(17)「聖儀」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(18)「聖事」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(19)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(20)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(21)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(22)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(23)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(24)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(25)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(26)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(27)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(28)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(29)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(30)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(31)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(32)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(33)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(34)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(35)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(36)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(37)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(38)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(39)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(40)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(41)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(42)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(43)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(44)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(45)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(46)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(47)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(48)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(49)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(50)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(51)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(52)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(53)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(54)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(55)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(56)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(57)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(58)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(59)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(60)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(61)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(62)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(63)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(64)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(65)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(66)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(67)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(68)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(69)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(70)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(71)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(72)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(73)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(74)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(75)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(76)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(77)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(78)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(79)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(80)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(81)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(82)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(83)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(84)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(85)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(86)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(87)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(88)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(89)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(90)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(91)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(92)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(93)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(94)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(95)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(96)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(97)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(98)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(99)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(100)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(101)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(102)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(103)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(104)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(105)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(106)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(107)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(108)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(109)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(110)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(111)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(112)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(113)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(114)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(115)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(116)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(117)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(118)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(119)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(120)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(121)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(122)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(123)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(124)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(125)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(126)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(127)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(128)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(129)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(130)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(131)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(132)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(133)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(134)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(135)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(136)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(137)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(138)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(139)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(140)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(141)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(142)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(143)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(144)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(145)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(146)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(147)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(148)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(149)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(150)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(151)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(152)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(153)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(154)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(155)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(156)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(157)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(158)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(159)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(160)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(161)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(162)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(163)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(164)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(165)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(166)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(167)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(168)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(169)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(170)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(171)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(172)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(173)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(174)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(175)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(176)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(177)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(178)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(179)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(180)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(181)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(182)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(183)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(184)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(185)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(186)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(187)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(188)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(189)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(190)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(191)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(192)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(193)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(194)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(195)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(196)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(197)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(198)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(199)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(200)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(201)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(202)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(203)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(204)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(205)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(206)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(207)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(208)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(209)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(210)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(211)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(212)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(213)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(214)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(215)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(216)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(217)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(218)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(219)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(220)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(221)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(222)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(223)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(224)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(225)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(226)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(227)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(228)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(229)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(230)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(231)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(232)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(233)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(234)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(235)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(236)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(237)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(238)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(239)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(240)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(241)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(242)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(243)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(244)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(245)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(246)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(247)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(248)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(249)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(250)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(251)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(252)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(253)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(254)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(255)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(256)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(257)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(258)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(259)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(260)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(261)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(262)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(263)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(264)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(265)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(266)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(267)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(268)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(269)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(270)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(271)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(272)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(273)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(274)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(275)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(276)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(277)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(278)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(279)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(280)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(281)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(282)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(283)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(284)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(285)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(286)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(287)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(288)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(289)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(290)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(291)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(292)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(293)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(294)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(295)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(296)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(297)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(298)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(299)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円(送料共) ●カテケージス シリーズ(300)「聖蹟」…九二頁、一〇〇〇円

説教・講話・書簡等の抄訳

家族について

愛と生命の共同体

今日、聖家族の祝日に、心の中でナザレトの家を訪問し、黙想したいと思います。

神の御子は私たちの救いのため、人に生まれ、御自分の家族を選びになりました。そして、結婚と家族は救いの計画の一部であり、個人と人間社会の善のために特別な役割を担っていることをお示しになったのです。これこそ教会が、現代の批判的な風潮にも屈せず、「結婚と家庭に対する神の計画を人々に伝えること」を、差し迫った宿命であると感じ、「そうすることによって」「人々が十分な活力を取り戻し、人間としてキリスト者として、確かに成長できるような助け、そうして社会と神の民の刷新に尽くす」使徒的勧告「家庭」三番)最も深い理由なので

こうした見解から、誤った考えを主張する人々に対して教会は、「はじめからそうではなかった」(マテオ一九・八)と倦まずくり返してきました。愛であらせられる神、御自身のうちに人格的な愛の交わりの神秘を生きておられる神が、「男女の人間性に招きを与え、愛し交わる力と責任を課された」(「家庭」十一番)のです。真の夫婦愛は、神の愛のかたど

「十字架の道行」(第三版) エスクリバー師の、主の御受難の場面観想より生れた書。黙想のしおりとして七十の考察を加えてある。定価二二〇〇円 送料三〇〇円 カセット・テープ一巻 定価二二〇〇円 送料三〇〇円 ●著者、尊者エスクリバー師は、今年五月十七日に列福されることになっております。

ホセマリア・エスクリバー著 精道教育促進協会スタッフ訳 今年五月十七日に列福されることになっております。

う。御父は、仕える心と寛大さ、連帯心が支配する世界を作れるよう、助けてくださるでしょう。

今日、聖家族がナザレトで送っていた素朴な生活のことを考えると、キリスト信者の家庭にも、このお手本に倣ってくださるよう、切に願わずにおかれませんか。皆さんの家庭を、どんな時でも「生命への尊重」を失わぬ、もともととすばらしい「愛の共同体」(現代世界憲章、四七番)にしてください。新たな福音宣教を考えるとき、家族というものが教会や社会の中でいかに重要な位置を占めるか、気づいてほしいと思えます。福音がありとあらゆる社会環境

境の中へ浸透していくためには、何よりもまず両親と子供たち、つまり人間社会を形作る基本的な細胞となる核家族の間に福音を広めることが必要です。家庭を崩壊に導くような力、道徳や精神的な価値を脅かす種々の悪に対抗しながら。この点で、一九八三年十月の「家庭の権利についての憲章」を常に参照するのが一番よいと思われます。これは、聖座が「現代世会で家庭への宣教に携わる全ての人と機関に対して」出したものです。

ここに知られる皆さん方全員に対し、また全てのキリスト信者の家庭の方々にに対し、私命を思い出させてくれます。 私たちは、マリア・ゴレットティの内に働く恩寵の無敵の力、「弱い者に殉教者の強さを与える」力を讃えます。そして、キリストと共に、聖霊において喜び、御父を讃えます。「天地の主なる父よ、あなたに感謝いたします。あなたはこの私たちのことを知恵ある人、賢い人に隠し、小さな人々に現されました。父よ、そうです。あなたはそう望まれました。」(マテオ十一・二五・二六)

ナザレトのマリアと世紀の流れの中に現れた多くのしもべたちと同じく、マリア・ゴレットティにおいても、聖霊が奥深く働いておられます。そこには信仰にあふれる心があったからです。 凌辱されるより死を選んだわず

すべての基を信仰に

★ (三) 聖女の生涯は一九〇二年七月六日にじくなつた時、マリアはわずかに才で

★ (三) 聖女の生涯は一九〇二年七月六日にじくなつた時、マリアはわずかに才でた「キリスト教的堅固さと並外れた聖性の雄弁な証人です。それは家庭内で福音的な価値観をしっかりと身につけていた結果でした。貧しさと犠牲の生涯、しかし何と豊かな美を結んだことでしょうか。惜しみなく神に全てを捧げ、神の掟を死守したのですから。(三) 「神は強い者を辱め(三) あると誇る者をむなしくす

るためになきに等しい者を選ばれた。神の前で誰にも誇らせないうたのである。」(「コリント」二七・二八) 使徒聖パウロのこの言葉は、本日の話の中で特別な意味を持っています。それは素直に受け入れる心があるところなら、神の力が効果的に働き、聖性の実を結ばせることを明らかに示しています。使徒の言葉は、洗礼を受けたとき私たちが召された根本的な使命、生涯を神に捧げることによって神に栄光を帰するという使

か十二才の少女の行為を説明できるのは、信仰以外にありません。神への信仰によらなければ、マリア・ゴレットティの姿はかすんでしまい、果ては、歪んだ、あいまいな解釈をされてしまいます。 信じる、とは神を唯一の善きものとして選ぶことです。いやむしろ、自らを余すところなく神に譲り渡すこと、自らの行いをもって「私の主よ、あなた以外に私の善はない。…主よ、あなたは私の資産、私の杯、私のなりゆきはあなたの御手にある」(詩篇十六・二、五)と申し上げることでです。

しかし、信じるとは「自らを神に委ねること」ですから、信仰の行為とは「神から与えられた啓示に対する自発的な同意」(神の啓示に関する教義憲章、五番)となり

不変の教え

ます。

マリア・ゴレッティには、健全な確信に基づいた大人の信仰が見られます。マリアはその信仰にかけて、自分が完全にキリストのものであることを知りつつ、純潔を守ったのです。彼女は自分の身体が聖霊の神殿であり、誘惑に負けてしまえば、祈りの中で何度も確かめたはずの主への忠実を守る約束を破ることになるのだと知っていました。私たちは罪によって神から離れます。「偶像」を選ばずに行き着く先は死、永遠の破滅、すなわち地獄に引きずり込まれてしまうのです。



★親愛なる兄弟姉妹の皆さん。十二才で殉教したこの乙女

の模範を、皆さん自身の使徒職のためにも決して忘れないでください。どうぞ、マリア・ゴレッティのように、深い信仰と主への完全な奉獻の人となってください。主は皆さんを聖人として、恐れを知らぬ福音の使者としてお召しになりました。キリストは皆さんを必要としておられます。皆さんの内で、また皆さんに任された司牧の任務を通して、日々出会うすべての人々の心の中でお働きになるためにです。

たしかに私たち皆が皆、マリアのような殉教に召されているわけではありません。けれども私たち一人ひとりが、キリスト教の徳を完全に身につけるべく努めるよう求められています。こうした霊的な努力は、この世の理想とされる

ものを退ける強さと、不断の警戒と勇気を必要とします。常に目覚めて警戒していなければなりません。どんな理由があろうと投げ出さず、この世の旅が終る時まで、日々やり直すのです。それは自分自身との戦いであり、長く続く緩慢な殉教にたとえられます。福音書は次のような明快で強い言葉で私たちに勧めています。「天の国は暴力で攻められ、暴力の者がそれを奪う。」(マテオ十一・十五)

赦しの秘跡

悪の原因は、人間の外にはなく、何にもまして人間の心の中に求めなければなりません。罪に対する薬も心から出るものです。ですからキリスト信者は誠実熱心に改心する努力を続け、自分の値打ちを下げることに反抗して、罪から解放された者の喜びを自分の生活によって、言い換えれば心からの痛悔と生活を改める決心、誠実正直に罪を告白することによって、人々に示さなければなりません。

告白場で告解を聞くのは人間である司祭ですが、私たちは神御自身に罪を告白します。司祭は、神のもとに立ち返る子と神御自身の間を実現するすばらしい秘義の謙

霊的・物質的・司牧的・個人的な相互援助において、集会において、また生活と仕事と愛の共同体において、自発的に喜んで表すべきである。「教会憲章、二八番」

苦しむ人に

朋友ともである病人、障害者、高齢者の皆さん、与えられた苦しみを忍び、祈りと犠牲を捧げることによって、世界中の教会の仕事

を力に限り支えてくださるよう、心からお願ひします。教皇自身も羊飼いの長としての勤めを皆さんの協力に頼っています。



「気がかりなのは、いつ終るとも知れない山のような仕事を抱えて、あなたの魂が干上がってしまう

を弱め、祈りのための時間とやる気さえも奪ってしまう危険があります。そこで大事なことは、毎日の聖務日課(教会の祈り)、黙想や念珠、ロザリオ、そして何よりも聖体祭儀が一日の仕事の最も重要なものであることを認識することです。さもなければ、使徒職は、望まなくともせわしく落ち着きのない活動主義に陥ってしまいます。聖ペルナルドがかつての弟子であった教皇エウジェニオ三世に与えた賢明な忠告が思い出されます。「気がかりなのは、いつ終るとも知れない山のような仕事を抱えて、あなたの魂が干上がってしまう

を弱め、祈りのための時間とやる気さえも奪ってしまう危険があります。そこで大事なことは、毎日の聖務日課(教会の祈り)、黙想や念珠、ロザリオ、そして何よりも聖体祭儀が一日の仕事の最も重要なものであることを認識することです。さもなければ、使徒職は、望まなくともせわしく落ち着きのない活動主義に陥ってしまいます。聖ペルナルドがかつての弟子であった教皇エウジェニオ三世に与えた賢明な忠告が思い出されます。「気がかりなのは、いつ終るとも知れない山のような仕事を抱えて、あなたの魂が干上がってしまう

わなにかということですが。皆があなたから利益を得ているのですから、あなたご自身もその利益にあずかる者の一人となってください。私はいつもと言っているわけではなく、しばしばと言っているわけでもありません。しかし、少なくとも時折自分の心に戻るべきだということをお忘れなさい。あなたの職務からくる恩典を他の人たちと共に、あるいは他の人たちより後に、ご自分のためにも私用するよう心掛けてください。」(九一・九・二九)



復活 私たちにとって毎年の復活徹夜祭は、確かに起るはずの出来事、待つことです。必ず起る出来事、実はすでに起った出来事を。(…)まことに私たちは、贖いの秘義の成就を待ちかまえています。(…)何とすばらしい夜でしょうか。その夜こそ、十字架につけられた御方、世の贖い主の権勢と力が啓示された夜なのです。

御聖体

何よりも大切なのは御聖体であり、御聖体において、教会と結ばれたキリストの愛の契約が祝われ更新されます。また、夫と妻が自分たちの結婚の契約に力を見出し養われるのも御聖体においてなのです。

「教皇様の声」ヨハネ・パウロ二世教皇の説教、書簡、講話等を解説なしにそのまま伝える月刊紙 毎月十日発行 定価 一部八十円 送料実費 一年予約九百円 送料六百元 二千部以上の一括購入なら送料不要

郵便振替 神戸 3-72393